

発行所 鹿児島市鴨池新町1-7
 鹿児島社会福祉センター内
 鹿児島県母子会福祉連合会
 電話 0992-58-2984

発行人 黒武者 キミ子
 編集 内村 五子
 宮上 周子
 土屋 昌子
 尾 昌子



県母連の動き

8月2日	九州地区大会第2回運営委員会
9月2日	フック展示会(福岡)
9月9日	理事会
9月13日	市町村会長会
10月4日	市母さん旅行(信州アルペンルート)
10月19日	全国母子会福祉大会
10月23日	県母子会福祉大会
10月27日	九州地区母子会福祉研究会大会
11月4日	自民党県議団への陳情
11月7日	県婦人大会
11月20日	母子会研修会
11月22日	祝賀会
12月5日	一子先生講演会
12月20日	理事会

会報発刊 あれから十年!

福祉の光がすすめる母子寡婦へ

昭和五十三年十一月に創刊、年一回発行にはじまり五十年から二年一回、六十一年からは年三回と今号で二十三年となった。何を載せようかと原稿作りは四苦八苦した創刊のころ、しか目まぐるしい社会の変化と共に、情報の選択に苦心する現在である。何れともあれ、これからも確実に発行できる会報としたい。

十年をふりかえり、そして「会報は会員みなさんの心を結ぶ広場として、また県や市の母子福祉の諸制度、施策がみなさんの一人ひとりに伝わり、福祉のひかりが、すべての母子家庭、寡婦にあまねく届けられる役割を果たすようになっていきたいと思います。そしてみなさんの白百合として親しまれ育ってまいりますことを念じて発刊のこいさつと致します。」

これは母子会だより第一号



新聞つくりの予備知識のな

受けていた

使いたいものだ

にさげられた

にた

にた

にた

自立促進と地域活動 団結組織の発展を期す

去る十月十九日、東京九段会館で、全国から約千人が集まり盛大に開催された。本県からは四人の出席。経済的自立、母と子の精神的自立、そして組織の団結を誓い母と子の共育を心にきざみ大会決議案を採決した。

大会当初に全国母子協守団

会長から、母子家庭の負担の軽減など「守るべきは守り、改めなくてはならないことは勇気をもってあたりまえ」とと接辞があった。国会議員の方々も大勢出席、なかでも本県選出の長野祐也厚生行政事務官から挨拶があり、福祉行政も時代を先取りしなくてはならない、また多くの問題を抱えているが、共に解決していききたいとのことで、心強さ

を覚えた。次に評論家で、老人問題、母子問題の研究者でもある樋口恵子先生の「シングル家庭の子育て、共育」の題で講演があった。

先生は「主人とは子供(女)が四歳の時、保証金のない死別であった。それからの母子家庭の暮らしは、全くぼうけらな」と、女一人での子育てを語った。

も、組織の拡大の中で、本部の活動目標に呼応する県内各地域の活動が、次第に軌道に乗り始めた頃で、必然的に新聞発行が開始された。鹿児島県母連で

にた

にた



今後、さらにならぬように

にた

にた

にた

新聞発刊 十年目に当たり

上 山 満 子

発行人黒武者キミ子理事、編集委員上村トシ理事、それに私の三人で取り組んだのですが、何しろ全くの素人ばかり。相談相手も無く南日本新聞社の講習を受

にた

にた

山百合

ことしも、あとわずかとなった。忙しく精いっぱい暮らし、あれから十年、今はスタッフも強化され、年三回発行の「母子会だより」は充実した内容と見事な体裁の新聞として、組織活動の上で大きな役割を果たすまで発展しました。一方変わりゆく社会情勢の中で、新聞の持つ重要性がますます痛感されるこの頃です。

男のように考え、女のように振るまい、犬のように働く



十一月六日行われた石原一子先生の講演会で、今や社会は国際化時代、あるいは女性の時代とも言われ目まぐるしいテンポで動いている。それに伴い女性のライフスタイルも変わった。

にた

にた

にた

にた

私たちはいま……

私たちの歌が聞える」の思い出

母子会二十五周年の記念事業の一環として、戦後の生活の記録を取集した「私たちの歌が聞える」を発行して十年。あの時のあの人たちは、あの子供たちは、と思うことです。ここに十年前掲載した人たちが寄せられた近況をおつめてみます。

準入町 新屋ユリ子

長男徳幸は二十歳、佐賀県で健康で毎日働いています。長女も高校三年、自分の生きる道を考えている様子、私も子供と一緒にジョギングをしたり、学校の出来事、子供の悩みを聞いたり、我が家の昔話をしたり、今は良い話し相手になっています。学校も校長先生始め担任の先生もよくして下さって有り難いと思います。部活で娘は陸上投てきです。いろんな大会に出さして頂きました。二回位は栄養会を開き先生、子供、親との和気あいあいの中の一、二時、また子供達の試合で他校の人達と気軽に楽しく喜びにみちた顔を見たり苦労して育てて良かった。子供がいてくれてよかったと思う。私も他

伊集院町 坂口 キミ

早いもので、さて何が変わったのかな。唯年を重ねただけの十年だったのかと寂しい気持ちにおられます。晩婚ながら二人の娘も結婚し一人居の気楽さで、思い出しては旅に出たり、娘も働いては娘の所へ行ったたり、気ままな毎日を送っております。近所の友達を心の支えに七十五歳の今日まで、病気に罹り病気がせず、元気で居るのも、若い時自転車で走り回ったせいで残りの少ない老春を大いに楽しみたい。

伊集院町 松尾 タケ

早十年の歳月が流れました。息子が四十八、娘が四十四歳それぞれ自分と与えられた仕事を頑張っています。四男が五十二年に町会議員に立候補し、六十四年で四期目です。三歳にして父を失い、ここまでする事ができたのは、母子会のお陰様と思っております。孫が福岡大学四年、孫娘大学二年、次が電子高校一年です。運送業をしながら、子供会、民生委員、交通安全の役員等で忙しいらしいです。五男も同じ町内に小さな店を出し、子供が三人、今が一番ついで所です。私も早八十八歳、土地をチビッコ広場に貸して、花ドクン植えたり、草ドクン取ったり店が稼いでいますので、野菜ドクン作ったりして、ゲートボール等しております。

出水市 茂原トシエ

あれからただがむしりながら生きて、ああ、もう十年たったのか。と思うことです。入り、家庭、学校から守られねばならないのにストレスをかけるに耐えられない。望まぬ発達を遂げるために大人の愛を、母親の愛をこく話に送り、子供を守ること話に。最後に大会の申し合わせ及び決議が行われた。(文責 児玉)

九州地区

母子寡婦福祉研修大会

九州地区母子寡婦福祉研修大会が、十月二十七日(休)二十八日(金)の二日間、別府市杉乃井ホテルで開催された。

二十七日は厚生省の行政説明に付いて研究会が行われた。第一分科会 組織の強化、母子家庭の加入促進と活動への参加の具体的な方策。第二分科会 就業について。職業能力の開発、職業意識の向上。時代に即した技能の習得、職場開拓、パートタイム、零の労働条件の改善。第三分科会 二十一世紀に向けての母の生き方、子の育て

方。地域ぐるみの子供の健全育成、学校との連携、教育を語る場をつくり明るい家庭づくりのための事業、社会参加最後に全体討議。二日目は「子供の発達と養護」と題して中央児童福祉審議会委員、国際こども研究所長の成田錠一先生の特別講演。養護とは大人がかまうべき育てて欲しい発達成長させることである。人生九十に必要とすることは、子供の栄養を考慮し、病気の事故から守ること、子供は柔軟で適応し易く大人の生活にむか

63年度 母子家庭リーダー研修会

十一月二十日 県婦人会館で会員百五十人が集まり行われた。県長谷孫長から、今月の制度を勉強し、地域の組織づくりに精出して欲しいと激励のことばがあり、理事長から母子会のしおりが説明があり質疑が活発に行われた。この研修会も各地区に母子部

「私のお父さんは板だったね」と言っていた娘も、四十六歳二人の子供の母、職業婦人として働き、どうにか人並みの生活をしていきます。昭和十八年九月主人の出征の時、出水駅のホームで私の背中に眠っていた娘が、急に泣き出しみなをびっくりさせた。その時、つい昨日のようなきががします。その娘も六年前市立病院の総務長として頑張っております。子供達の父親代りて一生懸命つとめてくれた祖父も、六十一一年七月、三十五日間の入院で九十歳で他界しました。孫(女)福岡大学体育部三年

を支援、家事も専らもしているにもかかわらず、片親であるために、この控除をうけることができません。そこで会では、この母子家庭の実態を配慮して、母子家庭特別控除の創設を要望している。

昭和六十三年度から、専業主婦の家庭では、夫に配偶者特別控除が創設され、更に配偶者の負担が軽減され、更に来年度からその額が引き上げられようとしているが、母子家庭の母は一人が家計

が結成され、年ごとに若者がえり、寡婦の代理でなく若い役員自身が出席、質疑にも著しい前進を感じた。また各地区の母子部の運営に変化がみえ、実践をふまえての意見交換は頼もしかった。午後には鹿児島大学心理学教授十島雅藏先生「子供は親に何を求めているか」とのテーマで講演。

「お母さんの笑顔は他の何物にもかえがたく我が子に幸せをと頼もう心が子供を良くするそれと共に子供の犠牲に寸ならず自分が幸せになることも忘れてはならない。やたら不

母子家庭特別控除の創設を要望

私もお父さんは板だったね」と言っていた娘も、四十六歳二人の子供の母、職業婦人として働き、どうにか人並みの生活をしていきます。昭和十八年九月主人の出征の時、出水駅のホームで私の背中に眠っていた娘が、急に泣き出しみなをびっくりさせた。その時、つい昨日のようなきががします。その娘も六年前市立病院の総務長として頑張っております。子供達の父親代りて一生懸命つとめてくれた祖父も、六十一一年七月、三十五日間の入院で九十歳で他界しました。孫(女)福岡大学体育部三年

を支援、家事も専らもしているにもかかわらず、片親であるために、この控除をうけることができません。そこで会では、この母子家庭の実態を配慮して、母子家庭特別控除の創設を要望している。

昭和六十三年度から、専業主婦の家庭では、夫に配偶者特別控除が創設され、更に配偶者の負担が軽減され、更に来年度からその額が引き上げられようとしているが、母子家庭の母は一人が家計

が結成され、年ごとに若者がえり、寡婦の代理でなく若い役員自身が出席、質疑にも著しい前進を感じた。また各地区の母子部の運営に変化がみえ、実践をふまえての意見交換は頼もしかった。午後には鹿児島大学心理学教授十島雅藏先生「子供は親に何を求めているか」とのテーマで講演。

「お母さんの笑顔は他の何物にもかえがたく我が子に幸せをと頼もう心が子供を良くするそれと共に子供の犠牲に寸ならず自分が幸せになることも忘れてはならない。やたら不

私がお父さんは板だったね」と言っていた娘も、四十六歳二人の子供の母、職業婦人として働き、どうにか人並みの生活をしていきます。昭和十八年九月主人の出征の時、出水駅のホームで私の背中に眠っていた娘が、急に泣き出しみなをびっくりさせた。その時、つい昨日のようなきががします。その娘も六年前市立病院の総務長として頑張っております。子供達の父親代りて一生懸命つとめてくれた祖父も、六十一一年七月、三十五日間の入院で九十歳で他界しました。孫(女)福岡大学体育部三年



ホリウチの健康の輪を広げよう
「健康茶」で

健康茶

【共同購入価格】 600円
ティーパック15g×20袋(1ケース40入) [1,100円]

◆お問い合わせ…鹿児島県母子寡婦福祉連合会
鹿児島市鴨池新町1-7(県社会福祉センター内) 電話(0992)58-2964

販売元 株式会社 ホリウチ 〒564 大阪府吹田市岸部南3-14-9 電話(06)381-0791(代)

全国母子寡婦福祉団体協議会推薦品

みんなのひろば

アルペンルートと 能登半島を訪ねて

東串良町 園 繁子

十月四日、機上の人となり一時半、アツという間に羽田に着く。直ちに二台のバスに乗り、広大な開平野を北へ北へと走る。諏訪湖で小憩、湖上の小島、白鳥の遊覧船を後に、要塞堅固な松本城を見学して浅間温泉ホテルに到着。一夜を楽しく迎えた。

五日、日本一のワザビ園に向かう。広々とした小石の畑に水が流れ、桶のようにどこまでも植えられ壮観さは驚きであった。幼い苗には覆いが張られ行届いた管理である。中央に製品販売所がある。深



家族登場

九歳をかしらに七歳、六歳、四歳と三男一女を託され三十五歳の昭和五十五年二月夫と死別。思い悩む間もなく持ち前の「ジーン」の強さで農業一すじに子供たちと生きて来たが、娘が本当によい子でなく、私をよく氣遣って来てくれ、みんなの支えがあったら、こんな支えがなければ「こそ」と謙虚に語

る。すぐ横の工房で輪島塗を見る。次に総持寺に参詣する。静かなたたずまいに歴史の重みを感じ、深く感ずる。バスは能登半島の荒波から一変して千里浜ドライブウェイに入る。波打際を二分分くらい走り続け余沢一泊。

母子会に拾われて

龍郷町 岡 良子

「母さんが車の運転をするなんて夢のようだね」「これは夢だよ。運転できないのが本当の母さんだよ」長男がきまっていたように言い出した。それは毎週土曜エレクトロニックに通うときの一言です。体験発表したのを機に、私の身辺は百八十度回転。会長さんに仕事の世話を託して頂いたものの不安がありました。まず、自分の歩んで来た道を考える時人前で胸をはって歩ける自分がない事、経済的事、これが一番心配の種でした。高校へ通う娘の定期代、その他の支

独り金婚を祝う

垂水市 園 カオル

夫と別れて一人で子育てに奮闘した私共の先輩たちを敬めて我々後輩たちで祝ってあげたい。その仕事を母子部が中心になってやったら、といわれたのは一昨年の秋だった。母子部は人数も少ないし、仕事もありなかなか集まれないので不安もあったが、班長会の結果やってみようということになった。

先ず母子部の光り上げは母

一日研修に参加して

有明町 蔵坪 チリ

晩秋のやわらかな日差しに包まれた十一月三日日曜日に、母子の一日遠足が実施されました。参加者は大人十五人、子供二十六人、七歳、役場、マクロバス大小二台で出発、目的地の平川動物園に到着した

楽しいなかま

志布志町 有留 ユキ

私共志布志母子会では九州電力の御協力によって、ホーム電気の簡単な修理の勉強をしながら、手芸を習っています。講師料は無料、材料費だけです。アイロンの修理や、電器製品の何処が故障しているか見分けられるので、良い勉強になるのと同時に実用的な手芸も習うことが出来るよ仲間作りは役立っています。「私共は第一回作品としてタオル掛けをつくっています。毎月二十六日に定例会を開いていますが、中食は会員の中の推進員の指導によって、パランスのとれた食生活のために料理実習に励みます。皆二十六日を楽しみに毎月二十五人程度の集まりがあります。年に三回は他所に出かけて楽しむことになっています。

仲良しがんばってまます!

南種子町 西之 砂坂 ほづみ

「農業といっても、さとうきびや、フェニックスの植栽が主です。これが私の収入源。思いのほか良いお金に小遣りです。子供たちが小さいころは良く手伝ってくれました。でも高校

になるとう部活で。その分私がかんばらなくつちやあ」とも楽しく話を聞ける。子供たちが伸び伸びとくたくなく育っているのもこの若いころは良く母ちゃんの心意気が通じているから



だろ。校区母子会の評議員として諸行事にも積極的に参加するバイタリテイのあるほづみさんだ。

た。また母会への皆様のご健康を癒すの空から祈って居ります。

は、十一時半。入口で記念撮影をし、子供達はいろいろな動物に目を輝かせて、時間たつのも忘れがちでした。帰りは親子合唱で、底ぬけに明るい車中でした。このように行事に参加することによって、会を知り、加入者増加につながってゆくと願うこととです。

は、十一時半。入口で記念撮影をし、子供達はいろいろな動物に目を輝かせて、時間たつのも忘れがちでした。帰りは親子合唱で、底ぬけに明るい車中でした。このように行事に参加することによって、会を知り、加入者増加につながってゆくと願うこととです。

は、十一時半。入口で記念撮影をし、子供達はいろいろな動物に目を輝かせて、時間たつのも忘れがちでした。帰りは親子合唱で、底ぬけに明るい車中でした。このように行事に参加することによって、会を知り、加入者増加につながってゆくと願うこととです。

紀州わかやま発 **会員の皆様へ** いろいろ商品お届けします。

クックウェア(鍋)セット
母子草ナプキン ポリマー入り/Wテープ付
(MS)水切りゴミ袋セット フリーサイズ/1袋20枚入り
紀州の梅セット
(M)入浴剤もりの泉 酵素入り/1本1,200g入り

(この他新商品など多数取りそろえて皆様の御利用をお待ち致しております)

〒642 和歌山県海南市鳥居210番地 **ゼンミ株式会社** 電話 07348 ② 1133番代
東京 ☎ 03-663-7418 ・名古屋 ☎ 052-503-3779 ・大阪 ☎ 06-394-0322 ・福岡 ☎ 092-573-7318

